

ギンヤンマ
(ヤンマ科)



大型のトンボで、上池や下池の上を高速で飛び回っています。



ショウジョウトンボ (トンボ科)

雄は全身が真っ赤です。



アキノタムラソウ (シソ科) ①

最近人気のルリモンハナバチも吸蜜に来ています。

みどころ

令和5年9月下旬

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

Mikiyama

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



タコノアシ (タコノアシ科) ②

今は緑色ですが、晩秋には赤くなり「ゆで蛸」を思わせます。



イチョウのギンナン (イチョウ科)



落果したギンナン (イチョウ科)



タヌキマメ (マメ科) ③

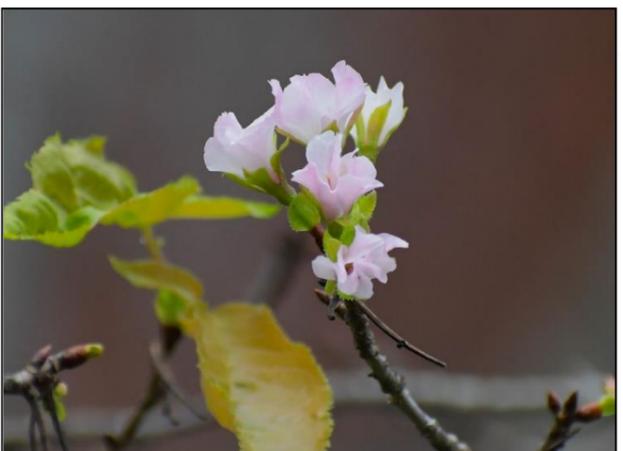
花や実の様子がタヌキに似ていて、かわいいイメージの植物です。

又ルデと同様雌雄異株の植物です。このため、雌木にしか果実(ギンナン)はできません。ギンナンは独特のにおいがします。素手でさわるとかぶれることもあります。このためか、最近植栽されるイチョウはギンナンのできない雄木が多いようです。



ヒガンバナ (ヒガンバナ科) ④

毎年、秋の彼岸に花を咲かせます。



カスミザクラの狂い咲き (バラ科) ⑤

猛暑や雨が少ないことなどからか、茶室のカスミザクラが葉を散らしてしまい、葉から供給される開花を抑制するホルモンの供給が断られたことから、季節はずれの開花が見られます。



クサギの実 (シソ科) ⑥

花は「令和5年8月上旬のみどころ」でご紹介したとおり白い芳香のある美しい花を咲かせます。実も美しく、赤い萼の上に藍色の丸い実が目立ちます。



又ルデの雄花 (ウルシ科) ⑦

又ルデの花が満開です。又ルデは雌雄異株(雄株と雌株が別個体)なので、雄株には雄花、雌株には雌花が咲きます。写真の花は雄花です。



又ルデの虫えい五倍子 (ウルシ科)

又ルデには、五倍子(ゴバイシ、フシ)といわれる虫えい(虫こぶ)ができます。タンニンを含み、昔はお歯黒に使われていたそうです。



サネカズラの若い実 (マツブサ科) ⑧

雌雄異株で雌株には実ができます。実は現在緑色で小さいですが、11月頃には熟して、真っ赤でよく目立つ実が見られます。



ミツバアケビの若い実 (アケビ科) ⑨

実が立派に成長してきました。もうすぐ熟して実が割れます。